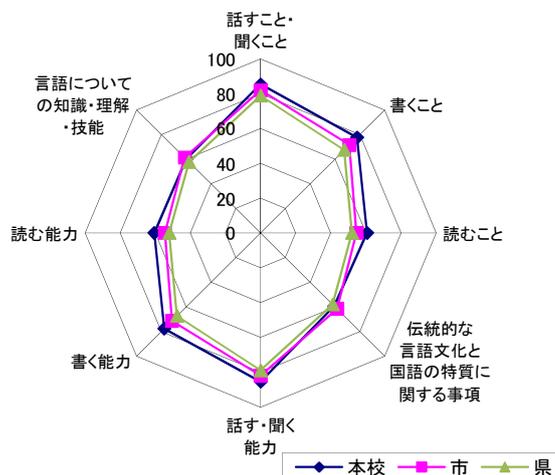


宇都宮市立海道小学校第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	85.4	82.0	78.9
	書くこと	77.7	71.5	67.4
	読むこと	60.6	54.6	52.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.4	61.7	58.1
観点	話す・聞く能力	85.4	82.0	78.9
	書く能力	77.7	71.5	67.4
	読む能力	60.6	54.6	52.1
	言語についての知識・理解・技能	59.9	61.3	57.7



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○領域の平均正答率は85.4%で、県平均より6.5ポイント高い。 ⇒○特に、話の中心を聞くことができる設問の正答率は100%で、県平均より8.9ポイント高い。設問(1)の正答率も県平均よりも2.2ポイント高く、話の中心に気をつけて聞く指導に一定の成果が見られる。	・授業を中心に話をしっかりと聞き取らせる指導を継続して行っていく。学級として話を聞き取る習慣の形成を図っていく中で、個々への指導を行っていく。
書くこと	○領域の平均正答率は77.7%で、県平均より10.3ポイント高い。 ⇒○特に、2段落構成で文章を書く設問の正答率が78.1%と県平均より20ポイント高く、一定の成果が見られる。	・自分の考えを支える理由を述べることを作文指導で意識して書かせたり、授業で意見を発表させる際に考えさせたりする。 ・国語以外の教科でも理由を書かせる作業シートを活用して学習させることにより意識化を図っていく。
読むこと	○領域の平均正答率は60.6%で、県平均より8.5ポイント高い。 ⇒○特に、物語の読み取りに関する設問の正答率が全て県の正答率より6ポイント高く、叙述に即した読みに一定の成果が見られる。	・与えられた情報を正確に読み取ったり、正しく修正したりする力を実際に新聞等を作成することで培っていく。また、国語以外の教科でも行い、継続した指導を行っていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○領域の平均正答率は59.4%で、県平均より1.3ポイント高い。 ⇒○特に、4年の漢字の読みの正答率が県平均より17.2ポイント上回る等、一定の成果が見られた。	・市で行っている学カアップシートや毎日の家庭学習を徹底して行うことにより向上を図る。 ・朝の学習を活用して、定期的に漢字の書き取りテストを実施し、その定着を図る。 ・漢字の学習の様々な仕方を紹介する等、個に応じた指導を行う。 ・既習の漢字を使うように全ての教科で指導する。